



ほしであきひこうちゅうひこうし やいづ
星出彰彦宇宙飛行士が焼津にやってきました！

7月4日（土）大井川文化会館で「星出彰彦宇宙飛行士講演会」が開催され、約900人の参加者が星出宇宙飛行士の話に耳をかたむけました。

講演の中で星出宇宙飛行士は、2012年7月から11月にかけて国際宇宙ステーションに長期滞在した時の様子を映像を交えて紹介し、質問コーナーでは、たくさんの質問に答えてくださいました。

最後に、7月23日に宇宙に行く油井宇宙飛行士への応援と、「みなさんも夢に向かってがんばってくれたらと思う。」というメッセージをくださり、約1時間の講演会は終了しました。夢を持つことの大切さを教えてくれた星出宇宙飛行士。みなさんもぜひ、「夢の実現」を目指していきましょう。



客席までやって来て、目の前で質問に答えてくれたよ。



Q「宇宙から見た地球はどんな色ですか？」

A「緑や青が主だが、ほかにも砂漠の茶色だったり、雲の白さ、雲がつくる影など、地球はいろいろな色や表情を見せてくれます。」



Q「宇宙飛行士になるために一番大事なことは何ですか？」

A「一番大事なことはチームワークです。一人では宇宙には行けません。ロケットを作る人、研究者、地上で計画する人、管制官など、いろいろな人がいて、宇宙飛行士はその一人です。チームの中で貢献する意識をもつことが大事だと思います。」



Q「プラネタリウムよりも宇宙で見た方が星がたくさん見えますか？」

A「実は、国際宇宙ステーションの窓は地球の方を向いているので、星はあまりよく見えません。スペースシャトルで帰るとき、シャトル内の電気をできるだけ消したり、隠したりして暗くしたら、すごい数の星が見えました。」

